

公示用

令和5年度

業務委託設計書

業務名 南車両基地土壤汚染状況調査業務

特記仕様書

1 業務名

南車両基地土壤汚染状況調査業務

2 業務目的

本業務は、南車両基地工場棟改築ほか工事（南車両基地改築ほか工事における1期工事）に関連する土地について、「令和4年度 南車両基地地歴調査業務」の調査結果を基に土壤汚染調査を実施し、当該用地の汚染状況を把握することを目的とする。

なお、実施にあたっては、以下の図書を参考とする。

- ・土壤汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン（改訂第3.1版）令和4年8月
環境省 水・大気環境局 水環境課土壤環境室
- ・土壤汚染状況調査における地歴調査について（環水大土発第1703318号 平成29年3月31日付）

3 業務箇所（調査対象地）

札幌市南区真駒内東町2丁目17-465、-493、-497、-574、-811、

真駒内東町1丁目17-829、真駒内上町5丁目9-3

（別添図参照）

4 業務内容

(1) 分析試料採取

○土壤ガスの分析調査

- ・別途指示する区画の代表点の土壤ガス(0.8~1m)を採取し、28検体とする。

○表層土壌の分析調査

- ・別途指示する区画の代表点の表土(地盤面下における試料採取は0~5cm及び5~50cm、地中における試料採取は基準点より下方50cm)を採取し、40検体とする。

(2) 測定及び分析方法

○土壤ガスの分析調査

- ・ジクロロメタン、ベンゼン及びその化合物(土壤ガス)

環境省告示第16号(平成15年3月6日)「土壤ガス調査に係る採取及び測定の方法を定める件」に基づいて実施する。

○表層土壌の分析調査

- ・鉛、ほう素及びその化合物(土壤溶出量、土壤含有量)

環境省告示第18号(平成15年3月6日)「土壤溶出量調査に係る測定方法を定める件」及び、同告示第19号(平成15年3月6日)「土壤含有量調査に係る測定方法を定める件」に基づいて実施する。

(3) 整理内容

本調査の調査結果を以下の内容で整理する。既往調査資料と本調査結果を用い、報告書を作成する。

- ・調査方法、内容
- ・調査結果
- ・その他必要事項（既往調査資料結果のとりまとめも含む）

5 主任技術者について

- (1) 本業務の主任技術者は、下記の条件を満たす者とする。
 - ・ 土壌汚染調査技術管理者の資格保有者であること。
- (2) 業務着手時に、資格保有者であることを証明できる書類（技術管理者証の写し）を提出すること。

6 業務期間

契約書記載の業務着手日から令和5年11月24日まで

7 成果品

- (1) 報告書 2部（A4版）
- (2) 電子データ 2部（CD：正副）

8 その他の事項

- (1) 打ち合わせの都度、業務記録簿を作成し、その内容について業務担当者と相互に確認すること。
- (2) 分析調査の結果報告は適宜行い、令和5年10月2日までに報告を完了すること。
- (3) 地下埋設物の探査を実施する必要があると判断した場合は、調査方法及び調査箇所について業務担当者と協議を行うこと。
- (4) 本業務の遂行に当って、下記項目に要する費用はすべて受託者の負担とする。
 - ・ 受託者の不注意によって生じた費用
 - ・ 受託者が第三者に損害を与えた場合のすべての費用
- (5) 成果品
 - ・ 成果品はすべて委託者の所有とし、委託者の承諾を受けないで他に公表、貸与又は使用してはならない。
 - ・ 本業務の処理において生じた著作権その他の権利は、委託者に帰属する。
- (6) 環境負荷の低減
本業務の実施に当たっては、環境に配慮し、紙資源やエネルギーの節約及びリサイクルの推進に努めること。
- (7) その他
 - ・ 受託者は、業務に当たり関連する法令等を遵守しなければならない。
 - ・ 受託者は、業務に当たって常に細心の注意をはらい、安全に対して十分に対策を講じ、事故防止及び従事者の安全を図ること。

令和5年度施行

積算書 (見積参考)

役務名 南車両基地土壌汚染状況調査業務

本積算書は、発注者の業務計画に基づいて作成した積算図書の一部を、見積算定の参考として提示するもので、契約上、これを拘束するものではありません。

令和5年 5月 単価適用

札幌市交通局高速電車部

役務の名称 南車両基地土壌汚染状況調査業務

	総役務費	<u> </u>	円也	
一金	内訳	役 務 費	<u> </u>	円也
		消費税等相当額	<u> </u>	円也

業 務 説 明

1. 役務の内容

本業務は、南車両基地工場棟改築ほか工事(南車両基地改築ほか工事における1期工事)に関連する土地について、「令和4年度 南車両基地地歴調査業務」の調査結果を基に土壌汚染調査を実施し、当該用地の汚染状況を把握することを目的とする。

2. 履行場所

札幌市南区真駒内東町2丁目17-465、-493、-497、-574、-811、
真駒内東町1丁目17-829、真駒内上町5丁目9-3

3. 役務の期間

契約締結日から令和5年11月24日までとする。

4. 仕様書及び特記仕様書

- (1) 受託者は、業務上知り得た事項を他人に洩らしてはならない。
- (2) その他の事項については、別紙特記仕様書による。
- (3) 本業務に疑義が生じた場合は、速やかに委託者と連絡を取り、指示を受けること。

5. 着手

受託者は、本役務を実施するにあたり役務着手前に役務内容の詳細について、委託者と十分協議し、次の書類を提出するものとする。

- (1) 業務着手届・主任技術者等指定通知書及び経歴書
- (2) 業務日程表（業務履行計画書）

6. 完了

受託者は、本役務の完了後、速やかに次の書類を提出するものとする。

- (1) 完了届
- (2) 成果品一式

コンサルティング業務費 内 訳 書 (原)

(設変)

(業務名) 南車両基地土壌汚染状況調査業務

一 金

第1号内訳書

名称	形質	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
調査打合せ協議		式	1			単 - 1
直接原価計						
電子成果品作成費		式	1			
直接経費計						
直接原価計						
その他原価						
業務原価						
一般管理費等						
コンサルティング業務費						

単-1

一式当たり単価表

調査打合せ協議

一金

円 (原)

(原)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
直接人件費	主任技師	人	1.00			着手前・調査後
直接人件費	技師A	人	3.00			着手前・中間・調査後
直接人件費	技師C	人	1.50			着手前・中間・調査後
直接経費	消耗品費	式	1.00			
計						

調査業務費 内 訳 書

(原)

(設変)

(業務名) 南車両基地土壤汚染状況調査業務

一 金

第1号内訳書

名称	形質	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
表土調査 (試料採取等)		式	1			内 - 1
土壤分析 (諸経費含む)		式	1			内 - 2
直接調査費計						
準備費 及び後片付け		業務	1			
旅費交通費		式	1			
調査管理費		式	1			
間接調査費計						
純調査費						
諸経費						
調査業務費						

内-1

一式当たり内訳書

表土調査（試料採取等）

一金

円（原）

（原）

名称	規格	単位	数量	単価（円）	金額（円）	摘要
土壌試料採取①	採取深度 GL-0.5mまで	箇所	100.00			単 - 2
土壌試料採取②	採取深度 GL-0.5m～-4.8mまで	箇所	11.00			単 - 3
土壌試料採取孔埋め戻し①	採取深度 GL-0.5mまで	箇所	100.00			単 - 4
土壌試料採取孔埋め戻し②	採取深度 GL-0.5m～-4.8mまで	箇所	11.00			単 - 5
土壌ガス採取	捕集バック法	箇所	28.00			単 - 6
土壌ガス現地分析	GC-PID分析	試料	28.00			単 - 7
位置測量		点	111.00			単 - 8
舗装掘削	表層部のコアリング	箇所	44.00			単 - 9
計						

内-2

一式当たり内訳書

土壌分析（諸経費含む）

一金

円（原）

（原）

名称	規格	単位	数量	単価（円）	金額（円）	摘要
溶出量試験①	溶出液作成料	検体	40.00			
溶出量試験②	鉛及びその化合物	検体	40.00			
溶出量試験③	ほう素及びその化合物	検体	22.00			
含有量試験①	鉛及びその化合物	検体	40.00			
含有量試験②	ほう素及びその化合物	検体	22.00			
計						

単-2

1箇所あたり単価表

土壌試料採取①

一金

円 (原)

(原)

(15箇所あたり)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
直接人件費	地質調査技師	人	1.00			
直接人件費	主任地質調査員	人	1.00			
直接人件費	地質調査員	人	1.00			
材料費	消耗品等 試料保存袋、蒸留水等	式	1.00			
機械等損料	土壌採取用具	日	1.00			
計						
1箇所あたり						

単-3

1箇所あたり単価表

土壌試料採取②

一金

円 (原)

(原)

(11箇所あたり)

名称	規格	単位	数量	単価 (円)	金額 (円)	摘要
直接調査費	オールコアボーリング砂質土 (φ 86mm)	m	1.70			
直接調査費	オールコアボーリング砂質土 (φ 86mm)	m	1.60			
直接調査費	オールコアボーリング砂質土 (φ 86mm)	m	1.40			
直接調査費	オールコアボーリング砂質土 (φ 86mm)	m	1.90			
直接調査費	オールコアボーリング砂質土 (φ 86mm)	m	4.30			
直接調査費	オールコアボーリング砂質土 (φ 86mm)	m	2.80			
直接調査費	オールコアボーリング砂質土 (φ 86mm)	m	4.80			
直接調査費	オールコアボーリング砂質土 (φ 86mm)	m	4.30			
直接調査費	オールコアボーリング砂質土 (φ 86mm)	m	1.40			
直接調査費	オールコアボーリング砂質土 (φ 86mm)	m	4.80			
直接調査費	オールコアボーリング砂質土 (φ 86mm)	m	4.30			
計						
1箇所あたり						

単-4

1箇所あたり単価表

土壌試料採取孔埋め戻し①

一金

円 (原)

(原)

(15箇所あたり)

名称	規格	単位	数量	単価 (円)	金額 (円)	摘要
直接人件費	地質調査員	人	0.50			
材料費	消耗品等 (洗砂等)	式	1.00			
機械等損料	突固め用具	日	1.00			
計						
1箇所あたり						

単-5

1箇所あたり単価表

土壌試料採取孔埋め戻し②

一金

円 (原)

(原)

(15箇所あたり)

名称	規格	単位	数量	単価 (円)	金額 (円)	摘要
直接人件費	地質調査員	人	0.50			
材料費	消耗品等 (洗砂等)	式	1.00			
機械等損料	突固め用具	日	1.00			
計						
1箇所あたり						

単-6

1箇所あたり単価表

土壌ガス採取

一金

円 (原)

(原)

(15箇所あたり)

名称	規格	単位	数量	単価 (円)	金額 (円)	摘要
直接人件費	地質調査技師	人	1.00			
直接人件費	地質調査員	人	1.00			
直接材料費	埋戻し用砂	m ³	0.03			
材料費	ガス採取管 (ふっ素樹脂製 1本2m標準)	本	15.00			
材料費	捕集バック (合成樹脂フィルム製 1~3L)	枚	15.00			
材料費	蒸留水 (20L 器具洗浄)	箱	0.50			
材料費	洗浄拭取りシート	箱	0.50			
材料費	消耗品費	式	1.00			
機械等損料	保護管 (ステンレス製ゴムパッカー付)	本	15.00			
機械等損料	外気遮断パッカー	日	1.00			
機械等損料	穿孔器具 (ボーリングバー)	日	1.00			
機械等損料	吸引装置 (真空ポンプ・機密容器)	日	1.00			
計						
1箇所あたり						

単-7

1試料あたり単価表

土壌ガス現地分析

一金

円 (原)

(原)

(15試料あたり)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
直接人件費	地質調査技師	人	1.00			
直接人件費	主任地質調査員	人	1.00			
材料費	捕集バック (合成樹脂フィルム製 1~3L)	枚	1.00			
材料費	スタンダード物質	本	0.01			
材料費	ヘリウムガス	本	0.10			
材料費	注射針 (シリンジ)	本	1.00			
材料費	セブタム	個	1.00			
材料費	消耗品費	式	1.00			
機械等損料	GC-PID (ステンレス製ゴムパッカー付)	日	1.00			
計						
1箇所あたり						

単-8

1点あたり単価表

位置測量

一金

円 (原)

(原)

(50点あたり)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
直接人件費	測量主任技師	人	1.00			
直接人件費	測量技師	人	1.00			
直接人件費	測量助手	人	1.00			
材料費	消耗品等 (木杭等)	式	1.00			
機械等損料	測量器具	日	1.00			
計						
1箇所あたり						

単-9

1箇所あたり単価表

舗装掘削

一金

円 (原)

(原)

(10箇所あたり)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
直接人件費	主任地質調査員	人	1.00			
直接人件費	地質調査員	人	1.00			
材料費	消耗品費	式	1.00			
機械等損料	舗装掘削機材	日	1.00			
計						
1箇所あたり						